

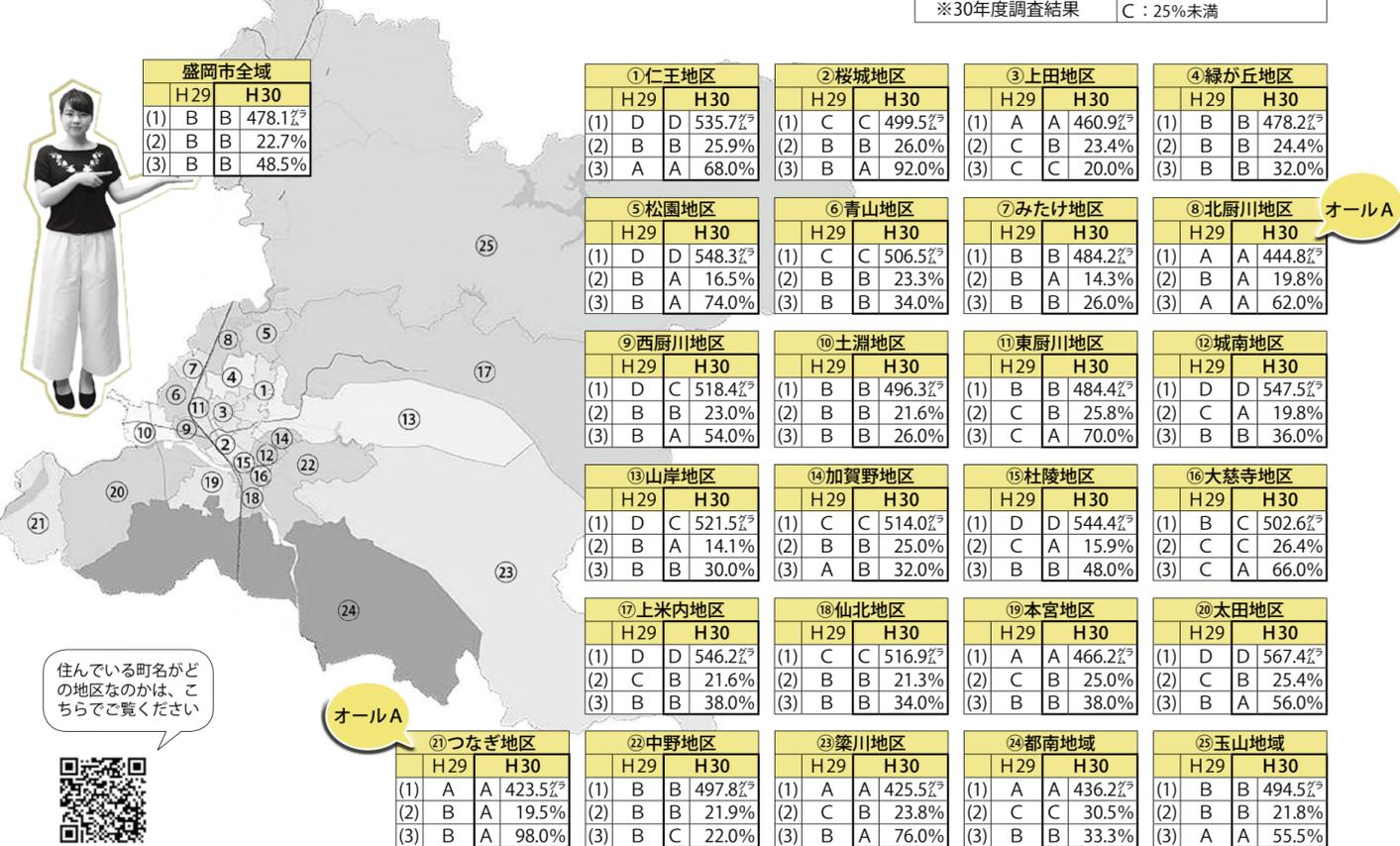
地区別タイプ診断付き！

ごみ減量&資源再利用に取り組みよう

地区ごとの資源とごみの現状

1 あなたの地区はどう変わった？

平成30年度は、29年度と比較すると、多くの地区でごみ排出量の減少、または分別状況の改善が見られました！ 市全体としても、ごみ排出量は29年度より約401t³（ごみ収集車約100台分）減少しています。



市は、平成29年度から地区ごとに資源とごみの分析をしています。その結果、住んでいる地区によって、排出されるごみの内容や分別状況に特徴が見えてきました。自分の地区のタイプを知って、ごみの減量と資源の再利用に取り組みましょう。
【問】資源循環推進課 ☎626-3733

《表の見方》

(1) 家庭ごみ排出量 ※30年度調査結果。地区ごとに1人1日当たり換算	A: 473%以下 (目標値) B: 473%超過~498%以下 C: 498%超過~523%以下 D: 523%超過
(2) 可燃ごみに含まれていた資源の割合 ※30年度調査結果	A: 21%以下 (目標値) B: 21%超過~26%以下 C: 26%超過
(3) おおむね分別ができていないごみ袋の割合 ※30年度調査結果	A: 50%以上 (目標値) B: 50%未満~25%以上 C: 25%未満

タイプ別診断で取り組みを効果的に実践

2 あなたの地区は何タイプ？

在宅生活タイプ

- ⑤松園地区⑥青山地区
- ⑩土淵地区⑬山岸地区
- ⑭加賀野地区⑮玉山地域

【特徴】

持ち家の割合や高齢者、子どもの割合が高いことから、家で食事をする機会が多く、ごみの排出量が多いと考えられます。分別のためのスペースや時間を確保しやすい世帯が多いため、分別状況は良好な傾向！ ごみの量を減らすために、ごみの発生抑制に取り組みましょう。

生ごみの「3キリ運動」を実施しましょう！ また、着なくなった衣類はリサイクルショップなどを活用してみましょう。

- 使いキリ：買い物前に冷蔵庫をチェック！ 残っている食材で作れるメニューを考えてみましょう
- 食べキリ：食べる分だけ作りましょう。作りすぎたら冷凍して保存食にしましょう
- 水キリ：水気をぎゅっとしほれば、重量が大幅減！

コミュニティタイプ

- ④緑が丘地区⑭つなぎ地区
- ③築川地区

【特徴】

持ち家の割合が多いため、地域内での周知・啓発が行き届きやすいことや分別するためのスペースを確保しやすいことが、ごみの少なさと分別の良好さにつながっていると考えられます。引き続き、地域ぐるみでごみの減量・資源の再利用に取り組みましょう。

町内会や老人クラブ、子ども会などの町内の皆さんが集まる機会を利用して、ごみと資源について考えてみましょう！

市は紙芝居やパネル、ゲームなどさまざまな啓発グッズを用意して啓発教室を開催しています。出張依頼は、資源循環推進課へどうぞ！



分別教室の様子

地区の特徴により、資源とごみの状況や効果的な取り組みが異なります。タイプ別に特徴とごみの減量のための実践法を紹介します。

農業地域タイプ

- ⑰上米内地区⑳太田地区

【特徴】

郊外で敷地が広い家が多く、庭木の手入れなどにより、草木が多く排出されることがごみの排出量が多くなる一因だと考えられます。集積場に出す前のひと工夫で、ごみの減量を目指しましょう。

庭などの草取りをするときに、草をすぐにごみ袋に入れていませんか？ 数時間屋外に掛けて乾かすだけで、重量が大きく減少します！ ごみ出しがラクになります。

- 根についた土を落とす
- すぐに袋に入れずに乾かしてから入れる



商業地域タイプ

- ①仁王地区②桜城地区
- ⑨西厨川地区⑫城南地区
- ⑮杜陵地区⑱仙北地区

【特徴】

分別状況は良好ですが、ごみの排出量が多い傾向があります。事業者が多い地域なので、地域のごみ集積場所に事業系ごみが出されているのも一因と考えられます。地域内での声掛けや事業者への指導を強化することで、ごみの減量につながる可能性があります。

事業系ごみは地域の集積場に出すことはできません。事業者が排出したと思われるごみが、集積場に出されていた場合は、市へ情報提供をお願いします。市から事業者へ啓発・指導を行います。

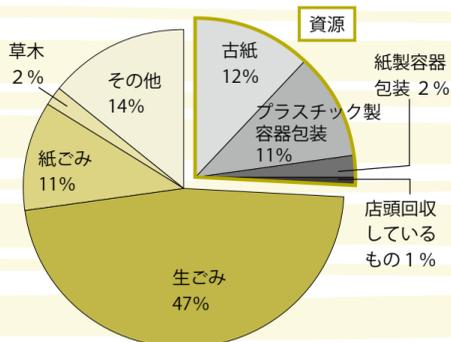


事業系ごみは、業種やごみの種類を問いません。商店や病院、事務所などから出る紙くずや飲食に伴うごみなども該当します。

3 Rマイスターへの道 特別編

3Rとは…リデュース（ごみを減らす）、リユース（使えるものは繰り返し使う）、リサイクル（資源を再利用する）の3つのRの総称

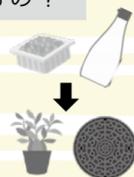
Q. 出された可燃ごみには、どんな資源が混じっているの？



30年度に行った、地区ごとの分別状況を把握するための組成分析調査では、可燃ごみの中に資源として分別できるものが重さで約4分の1含まれていました。例えば、トイレ用ペーパーの芯やチラシなどの古紙、お菓子の袋などのプラスチック製容器包装、店頭回収している食品トレイや紙パックなど、さまざまな資源が可燃ごみとして出されています。資源としての認知度が高いペットボトルや缶、瓶も混じっていることも…

Q. 分別した資源はどうなるの？

さまざまな製品にリサイクルされて、皆さんの役に立っています！
例えばプラスチック製容器包装は、マンホールや植木鉢などになります。



プラスチック製容器包装の分別ワンポイント！

分別はこのマークが目印！



プラスチックできていても、マークがないものはプラスチック製容器包装の分別対象外です。



洗剤やシャンプーなどの容器は、使い切れば、プラスチック製容器包装として出せます。逆さまにして振っても、中身が出てこなくなればOK！



借家タイプ

- ③上田地区⑦みたけ地区⑧北厨川地区
- ⑪東厨川地区⑯大慈寺地区⑲本宮地区
- ⑲中野地区⑳都南地域

【特徴】

借家の割合が高く、一人暮らしの学生や働いている人が多い地域です。アパートなどでは、分別するためのスペースが確保できず、お困りの人も多いのではないのでしょうか？ 省スペースでできる分別のコツを実践してみましょう。

ごみ箱を用意しなくても、壁に掛けて分別すると、場所を取らずに分別ができます。袋や容器を工夫すれば見た目もおしゃれに！
菓子箱や雑誌などは紙袋に入れて保管。収集日にはそのまま出せるので、ごみ出しも簡単！ ※都南地域はひもで縛って出してください



布で作った分別ボックス

盛岡広域圏でごみ処理を進めています

【問】ごみ処理広域化推進室 ☎613-8146
【広報ID】1020646

盛岡広域8市町は、圏内のごみの共同処理に向けて取り組んでいます。令和11年度から新しいごみ処理施設を稼働するため、盛岡インターチェンジ付近を最も有力な候補地として、地域と協議を続けています。



循環型社会の形成のため、8市町が一体となって3Rの推進に取り組む、効率的で環境に配慮したごみ処理を目指します

※ごみをなるべく出さず、できるだけ資源として使い、利用できないごみは適正に処理することで、限りある資源の消費を抑制し、環境への負荷を減らす社会